

と
人形を描く

コレクション企画展示

—小磯良平と西洋人形—

2020年2月6日～4月5日

同時開催：小磯良平作品選Ⅴ—油彩—

新聞連載小説挿絵原画展「適齢期」(四)【白川渥・著】



F.18

1954年

【開館時間】10:00から17:00(入館の受付は16:30まで)【休館日】毎週日曜日、2月25日 ※ただし2月24日(月・祝)は開館
【入館料】一般200(160)円 / 大学生100(50)円 ※(内)は30名以上の団体料金 / 高校生以下無料 ※学生証、生徒手帳など持参ください / 神戸市内在住で65歳以上の方：無料 ※生年・年齢がわかるものを持参ください / 障がい者手帳など持参の方：無料 / 神戸ゆかりの美術館、神戸ファッション美術館の当日券(半券)をお持ちの方は割引を受けられます

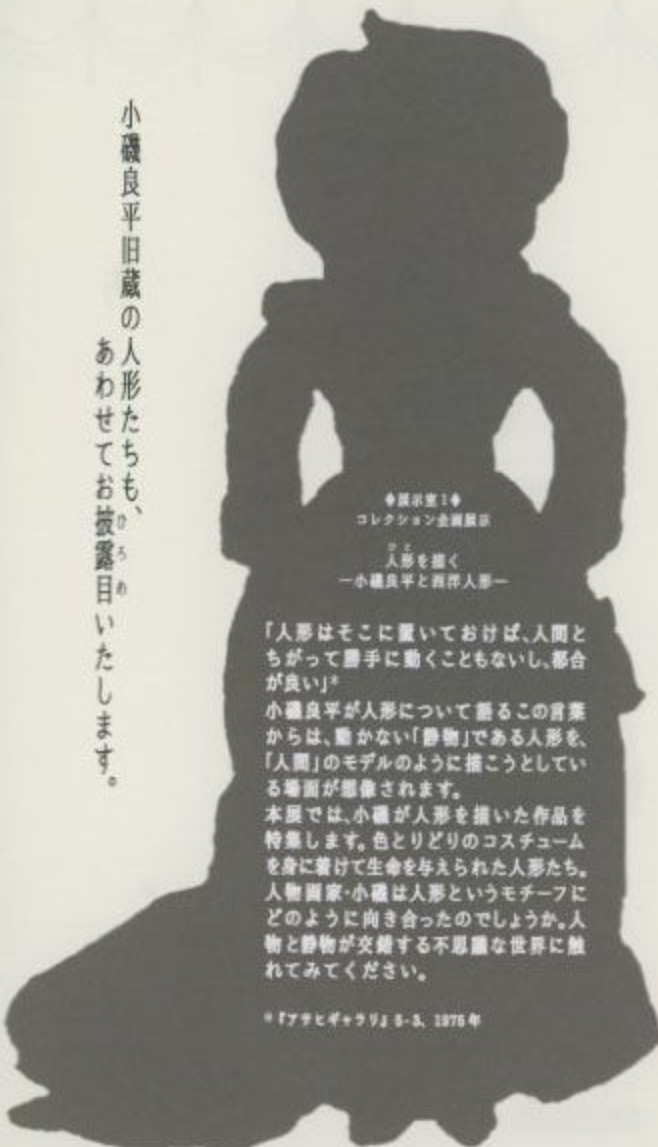
KOBE CITY
KOBUN MEMORIAL
MUSEUM OF ART



神戸市立 小磯記念美術館

〒658-0032
神戸市東灘区向洋町中5-7
(六甲アイランド会館内)
TEL: 078-857-5880

小磯良平旧蔵の人形たちも、あわせてお披露目いたします。



◆展示室1◆
コレクション全開展示

人形を置く
—小磯良平と西洋人形—

「人形はそこに置いておけば、人間とちがって勝手に動くこともないし、都合が良い」*

小磯良平が人形について語るこの言葉からは、動かない「静物」である人形を、「人間」のモデルのように描こうとしている場面が想像されます。

本展では、小磯が人形を描いた作品を特集します。色とりどりのコスチュームを身に付けて生命を与えられた人形たち。人物画家・小磯は人形というモチーフにどのように向き合ったのでしょうか。人物と静物が交錯する不思議な世界に触れてみてください。

*『アラビヤウリ』S-S、1975年

イベント案内

◆ギャラリートーク

学芸スタッフと一緒に作品を鑑賞するツアー

毎週日曜日14:00～(約30分間)

*イベント等のある場合を除きます。

◆アトリエ解説

小磯良平のアトリエを巡る作品について、美術館インフォメーションスタッフが解説
開館日の11:00～、14:00～(約20分間)

*イベント等のある場合は時間を変更しています。

◆子供のワークショップ

*付き添いの大人は要入館券(団体料金)

◆美術館大作戦7

「人形を描こう」

小磯さんの絵のモデルになったフランス人形を、パステル・イーゼルなどの本格的な画材を使って描いてみよう。

日時：2月15日(土)14:00～16:30

(申込締切2月6日必着)

対象：4歳～中学生(未就学児は大人同伴)

定員：16名

◆美術館大作戦8

「人形型ランプを作ろう」

いろいろな材料を使って、ドレスがほのかに光る人形型ランプを作ろう。

日時：3月14日(土)14:00～16:30

(申込締切2月4日必着)

対象：4歳～中学生(未就学児は大人同伴)

定員：20名

申込方法：往復はがきまたは返付可能なFAXに①～⑥を記入 ①講座名②名前③学年④学校園名⑤電話番号⑥FAX番号 *募集定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。

♪小磯マンスリーコンサート♪

毎月第3日曜日に開催中(14:00～)!



1 『朝方の静寂』1902年、パステル画
2 『ロココの女』制作年不明、油画・キャンバス
3 『大島』制作年不明、油画・キャンバス
4 『静けけ』制作年不明、油画・キャンバス
5 『ロココの静寂』制作年不明、油画・キャンバス
*全て当館所蔵の小磯良平作品です。

交通案内



◆電車 JR住吉駅、阪神魚崎駅のりかえ

六甲ライナー「アイランド北口(小磯記念美術館前)駅」下車すぐ

◆バス 阪急「河本駅」「御影駅」南側より

みなど観光バス「ウエストコート3番街前」下車

同時開催

◆展示室2

新聞連載小説挿絵原画展

「過剰期」(四)【白川渥・著】(第176～217回)

1966(昭和41)年11月14日から翌年9月11日にかけて神戸新聞夕刊に連載された、白川渥著「過剰期」の小磯良平による挿絵を紹介します。



『過剰期』(4)の挿絵

◆展示室3

小磯良平作品選V—油彩—

当館で収蔵する小磯良平の作品を、油彩を中心に約30点展示します。